

提案団体	内容	モデル事業の目標	モデル事業終了後
<p>NPO法人岡山市子どもセンター 地域子育て支援課</p>	<p>就学前親子の居場所の設置・運営 岡山市子どもセンター事務所(旧白石幼稚園)で週3日・1日3時間、就学前親子の居場所を設置する。子育て中の親子の交流や育児に関する相談などを気軽にできる居場所とし、詳細は現在実施中のニーズ調査の結果に基づき検討する。</p>	<p>就学前親子の不安感や孤立感の解消</p>	<p>子育てへの不安感や孤立感の解消、子どもの健やかな育ちを支援する体制の充実</p>
<p>子ども・若者支援ネットワーク 地域子育て支援課、こども福祉課</p>	<p>岡山市子ども・若者支援地域協議会の立ち上げ 支援を要する高校世代の子ども10ケースをモデルに個別支援を実施し、「子ども・若者支援地域協議会」の立ち上げに向けて協議する。協議会立ち上げ後、切れ目のない伴走型の支援を円滑に運用するため、官民協働の協力体制を構築する。</p>	<p>子ども・若者支援地域協議会の立ち上げ</p>	<p>子ども・若者支援地域協議会の運営</p>
<p>NPO法人オカヤマビューティサミット こども福祉課</p>	<p>シングルマザーの就労支援講座の開発 ①フェイシャル、アロマボディトリートメント、ネイルの3コースの技術習得講座（対象：児童扶養手当受給世帯の親14人）、②賛同企業の開拓とマッチングによる受講生の就労支援、③令和元年度修了生の就労定着支援を実施。また、④講座の継続開催にむけた基盤づくり、⑤就労支援講座の有効性を測る調査を実施。</p>	<p>技術習得講座や各種調査による、ひとり親の就労支援としての有効性の検証</p>	<p>ひとり親の就労支援策の拡充</p>
<p>NPO法人チャリティーセンター こども福祉課</p>	<p>生活困窮のひとり親家庭への体験プログラム実施と情報発信 今年度ニーズ調査結果をもとに、①企業・団体・行政等の協働で、ひとり親家庭への体験プログラム（年4回程度）を開発し提供する。②ひとり親家庭へ年間通じた体験活動情報を提供する。</p>	<p>体験プログラムの実施体制（連携体制の構築・財源の確保）および情報提供の仕組みの確立</p>	<p>体験プログラム及び情報発信の継続実施</p>
<p>NPO法人あかね 生活保護・自立支援課、こども福祉課</p>	<p>ICT教材を活用した小学生向け学習支援の実施 生活困窮世帯等の学童期の子ども15～20名程度を対象に、ICT教材（通信機能付きタブレット）を活用した学習支援を実施する。①あかねに来所する来所型、②通話や訪問によるサポートを行う遠隔型、③市内各地で実施する体験会の3類型で行う。</p>	<p>ICT教材および3類型による学習支援のニーズ把握と有効性の検証</p>	<p>効果的な学童期の学習支援施策の実施</p>